

科目名称：京都大学公開森林実習-近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴-

単位数：1単位

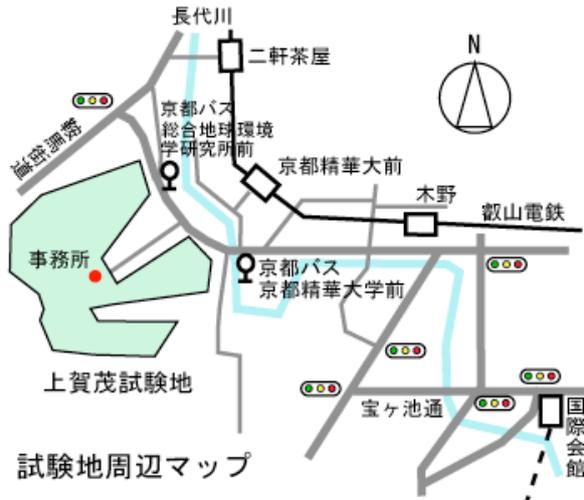
担当教員：吉岡崇仁・安藤信・寄元道徳・徳地直子・伊勢武史・坂野上なお（京大フィールド研）

実施時期：平成27年9月9日（水）～9月11日（金）

集合時刻：平成27年9月9日（水）12：30（予定）

集合場所：京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地

アクセス方法：



○JR「京都駅」から、地下鉄烏丸線で国際会館下車。京都バス40系統京都産業大学行きまたは50系統市原行きで、「京都精華大学前」または「地球研前」で下車。徒歩10分。

○叡山電鉄「出町柳駅」から、鞍馬（二軒茶屋、市原）行きで、「京都精華大前駅」で下車。徒歩10分。

実施場所：京都大学フィールド科学教育研究センター

芦生研究林、上賀茂試験地および北白川試験地ほか

芦生研究林：〒601-0703 京都府南丹市美山町芦生

Tel.:0771-77-0321 Fax.:0771-77-0323、<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/asiu/>

E-mail: [ashiu@adm.kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:ashiu@adm.kais.kyoto-u.ac.jp)

上賀茂試験地：〒603-8047 京都市北区上賀茂本山2

Tel:075-781-2404 Fax:075-723-1262、<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/kami/>

E-mail: [kamigamo@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:kamigamo@kais.kyoto-u.ac.jp)

北白川試験地：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

Tel.:075-753-6457 Fax.:075-753-2264、<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/sira/>

E-mail: [pieris@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:pieris@kais.kyoto-u.ac.jp)

対象学生：他大学の全学部、主として2・3年次生対象。

定員：10名

実習課題：暖温帯林から冷温帯林の植物と動物と人のつながりに関する実習

実習内容：上賀茂試験地に集合し、初日は同試験地において近畿地方中部の里山の特徴を有する都市近郊林の天然植生とナラ枯れ・マツ枯れ被害および、マツ類を中心とする外国産樹種とその特徴について講義と実地見学を通して学ぶ。バスで芦生研究林に移動し、2日目は日本海側の多雪地帯の要素を有する原生的森林植生とシカによる食害による植生の変化、由良川源流域での流下過程における水質変化について講義と実習を行う。3日目は南丹市美山町北地区の伝統的建造物群（茅葺き集落）、北山林業地における原木市場等、北白川試験地のj-pod（地域産材を使用し工場で生産したリブフレームによるモノコック構造物）等を巡り、森と人との関わりを実地体験した後、レポートを作成し同試験地で解散する。

**実習日程：**

- 第1日：上賀茂試験地集合、ガイダンス  
外来種見本林・里山二次林・ナラ枯れ被害・マツ枯れ被害・標本等の見学・解説  
芦生研究林に移動、講義とディスカッション（芦生研究林泊）
- 第2日：芦生研究林上谷周辺の天然林の観察およびシカ防護柵プロットの見学  
由良川源流域の水質計測と解説、下谷周辺の天然林および人工林の観察  
意見交換会（芦生研究林泊）
- 第3日：南丹市美山町北地区伝統的建造物群および原木市場等の見学  
北白川試験地樹木園およびj-pod見学・解説、レポート作成・報告  
北白川試験地にて解散

**参加費用：**7,000円程度（食費及び宿泊費等）

集合地（上賀茂試験地）・解散地（北白川試験地）と居所間の交通費は別途自己負担。

**提出書類：**自大学の教務（学務）担当者と相談の上、下記の書類を提出すること。

下記、IとIIの受入身分の違いによって提出期限、提出書類と提出先が異なるので注意すること。

**I. 農学部特別聴講学生となる場合（平成27年2月20日締切）**

以下の書類を整えて、所属する学部の教務掛等から提出すること。

- ①学部長等の依頼書（別紙様式1）
- ②履修願（別紙様式2）
- ③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

**提出先：**京都大学農学部 学部教務掛

（封筒の表に「公開森林実習受講申込書在中」と朱書きすること。）

住所：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

TEL：075-753-6012 FAX：075-753-6005

Email：[agri-kyoumu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:agri-kyoumu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

**II. 農学部特別聴講学生とならない場合（平成27年7月31日まで受付け予定）**

以下の書類を希望学生自身が提出すること。ただし、指導教員、クラス担任等の押印が必要。

- ①受講願（別紙様式3）
- ②学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

**提出先：**京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林 公開森林実習担当者

住所：〒601-0703 京都府南丹市美山町芦生

Tel.:0771-77-0321、Fax:.0771-77-0323、E-mail: [ashiu@adm.kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:ashiu@adm.kais.kyoto-u.ac.jp)

詳しくは、実施計画書やHP（<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/blog/archives/16422>）を参照のこと。

**保険について：**学生教育研究災害保険等の傷害保険に必ず加入すること。また、旅行保険に加入することを推奨する。なお、保険加入にあたっては、家族等とよく相談すること。

**キャンセル：**定員があるため、受講を希望しても参加できない学生が出る可能性がある。このことを念頭に、直前になってキャンセルすることのないように日程等をよく検討してから申し込むこと。

科目名称：京都大学公開森林実習-近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴-

Field Practices in Kyoto University Forest -Characteristics of Forest landscape of “Okuyama” and “Satoyama” in the Kinki district-

単位数：1 単位

対象学生：他大学の全学部、主として2・3年次生対象。

担当教員：吉岡崇仁・安藤 信・寄元道徳・徳地直子・伊勢武史・坂野上なお（京大フィールド研）

授業概要：上賀茂試験地における近畿地方中部の里山の特徴を有する都市近郊林の自然植生とナラ枯れ・マツ枯れ被害、マツ類を中心とする外国産樹種とその特徴、芦生研究林における日本海側の多雪地帯の要素を有する原生的森林植生とシカによる食害による植生の変化、由良川源流域での流下過程における水質変化について、講義と実習を通して学ぶ。また南丹市美山町北地区の伝統的建造物群（茅葺き集落）、北山林業地における原木市場、北白川試験地のj-pod（地域産材を使用し工場生産したリブフレームによるモノコック構造物）等を巡り、森と人との関わりを実地体験する。

日 程：平成27年9月9日（水）～9月11日（金）

第1日：上賀茂試験地集合、ガイダンス

外来種見本林・里山二次林・ナラ枯れ被害・マツ枯れ被害・標本等の見学・解説  
芦生研究林に移動、講義とディスカッション（芦生研究林泊）

第2日：芦生研究林天然林および人工林の観察、シカ防護柵プロットの見学

由良川源流域の水質計測と解説、意見交換会（芦生研究林泊）

第3日：南丹市美山町北地区伝統的建造物群、原木市場等の見学

北白川試験地樹木園およびj-pod見学・解説、レポート作成・報告、解散

#### 履修上の注意事項

この授業は、他大学の学生に開かれた公開実習である。そのため、京都大学の学生は履修することができない。他大学の履修希望者のうち、

I. 京都大学農学部特別聴講学生としての履修を希望する他大学生は、所属大学（農学部等）に京都大学公開森林実習を履修したい旨を申告し、所属大学から「依頼書（別紙様式1）」、「履修願（別紙様式2）」、「学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー」を平成27年2月20日までに京都大学農学部へ提出する必要がある。この場合、修了者には大学を通じて成績を報告する。

II. 特別聴講学生としての履修を希望しない他大学生は、平成27年7月31日までに、自ら「受講願（別紙様式3）」を提出する必要がある。この場合、修了者には「受講証明書（成績評価付）」を発行する。その書類を持って自大学で単位として認められることを希望する学生は、事前に自大学教務担当掛で確認すること。

詳しくは、実施計画書やHP (<http://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/blog/archives/16422>) を参照のこと。

評価方法：各課題の取り組みについての積極性、理解度、受講態度等を考慮して評価。

実施場所：京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林、上賀茂試験地、北白川試験地等

定 員：10名

参加費用：7000円程度（現地と居所間の交通費は自己負担）

保 険：学生教育研究災害保険等の傷害保険に必ず加入すること。また、旅行保険に加入することを推奨する。なお、保険加入にあたっては、家族等とよく相談すること。

キャンセル：定員があるため、受講を希望しても参加できない学生が出る可能性がある。このことを念頭に、直前になってキャンセルすることのないように日程等をよく検討してから申し込むこと。